

「冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する意向調査」の 結果がまとまりました

1 調査実施の概要（※詳細は「報告書（3種）」をご参照ください）

(1) 郵送調査

調査対象者	札幌市全域の満18歳以上の男女10,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔無作為抽出法
調査方法	郵送法
調査期間	令和4年3月2日（水）～令和4年3月11日（金）
回収結果	5,775通（回収率57.8%）

(2) インターネット調査

調査概要	札幌市民・北海道民を対象に、インターネットアンケートサービスを用いて、「20代以下」～「60代以上」の5世代×男女＝10区分のサンプル比率がほぼ均等且つ、札幌市内と札幌以外の道内サンプル数が概ね2：3となるようアンケート調査を実施
調査期間	令和4年3月7日（月）～令和4年3月14日（月）
回収結果	5,540通

(3) 街頭調査

調査概要	札幌市民・北海道民を対象に、札幌市内・北海道内の劇場来場者に声がけし、アンケート調査を実施
調査期間	札幌市内：令和4年3月2日（水）～令和4年3月13日（日） 北海道内：令和4年3月5日（土）～令和4年3月6日（日）
回収結果	2,549通

※構成比（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。また、割合の合計値は、回答者数から計算しているため、各選択肢の割合の合計値と異なる場合があります。

2 設問ごとの主な調査結果について（※詳細は「報告書（3種）」をご参照ください）

- 問1 1972年に札幌で冬季オリンピックが開催されたことを「知っていた」人は、
郵送調査 94.2%、インターネット調査 81.0%、街頭調査 86.4%
- 問2 札幌市が2030年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会（以下、2030年大会）の開催を検討していることを「知っていた」人は、
郵送調査 91.5%、インターネット調査 73.0%、街頭調査 81.1%
- 問3 2030年大会について、「単なる一過性のスポーツイベントではなく、北海道・札幌が将来に渡って輝き続けるためのまちづくりに関するプロジェクト」という考えを「理解した」と回答した人は、
郵送調査 68.9%、インターネット調査 62.5%、街頭調査 60.9%

- 問4 北海道・札幌で初めてとなる冬季パラリンピックの開催が「共生社会」の実現に貢献するという考えを「理解した」と回答した人は、
郵送調査 74.1%、インターネット調査 69.0%、街頭調査 75.0%
- 問5 2030年大会では「すでにある施設を最大限活用し、大会開催のための新たな施設は設けない」という施設整備の考え方を「理解した」と回答した人は、
郵送調査 75.2%、インターネット調査 71.4%、街頭調査 72.5%
- 問6 2030年大会では「大会の運営のための費用は、IOCの負担金やスポンサー収入などで賄い、原則、税金は投入しない」という財政面の考え方を「理解した」と回答した人は、
郵送調査 66.8%、インターネット調査 68.1%、街頭調査 67.4%
- 問7 2030年大会では「新型コロナウイルスへの対応等、不測の事態への対応のため、予算の10%程度を予備費として確保する」という考えを「理解した」と回答した人は、
郵送調査 61.3%、インターネット調査 62.1%、街頭調査 65.7%
- 問8 北海道・札幌市で冬季オリンピック・パラリンピックを開催することを「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は、
郵送調査 52.2%、インターネット調査 56.5%、街頭調査 65.5%
一方、「反対」「どちらかといえば反対」と回答した人は、
郵送調査38.2%、インターネット調査26.2%、街頭調査26.2%
- 問9 2030年大会について寄せられた主な意見（自由意見）
<郵送調査>
賛成の意見では「経済・まちづくりに関すること」が402件、反対の意見では「費用負担に関すること」が304件
- 「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した方の主な意見（1,451件）
経済・まちづくりに関すること（402件）
- ・札幌のPRの強化により経済効果をもたらし、住み良いまちづくりをしてほしい
 - ・北海道の魅力を世界に伝えることができる
 - ・札幌・北海道の将来のためにぜひ開催してほしい
- 「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した方の主な意見（1,271件）
費用負担に関すること（304件）
- ・開催が決まれば予算が増大し、最終的に市民の負担が増えることが想像される
 - ・僅か2週間のイベントに多大な税金を投入は賛成できない
 - ・招致にかかる予算を他の施設に使うべき

3 大会開催の賛否と大会概要(案)の理解について

(※詳細は別紙「詳細分析」をご参照ください)

<郵送調査①>

- 問3 2030年大会について、「単なる一過性のスポーツイベントではなく、北海道・札幌が将来に渡って輝き続けるためのまちづくりに関するプロジェクト」という考えについて、
「わからない」と回答した人のうち、
- 問8 北海道・札幌市で冬季オリンピック・パラリンピックを開催することを
「わからない」と回答した人は、29.1%
「反対」「どちらかといえば反対」と回答した人は、35.2%

<郵送調査②>

- 問6 2030年大会では「大会の運営のための費用は、IOCの負担金やスポンサー収入などで賄い、原則、税金は投入しない」という財政面の考え方について、
「わからない」と回答した人のうち、
- 問8 北海道・札幌市で冬季オリンピック・パラリンピックを開催することを
「わからない」と回答した人は、26.1%
「反対」「どちらかといえば反対」と回答した人は、28.3%

<郵送調査③>

- 問7 2030年大会では「新型コロナウイルスへの対応等、不測の事態への対応のため、予算の10%程度を予備費として確保する」という考えについて、
「わからない」と回答した人のうち、
- 問8 北海道・札幌市で冬季オリンピック・パラリンピックを開催することを
「わからない」と回答した人は、32.4%
「反対」「どちらかといえば反対」と回答した人は、36.2%

【今後の取組の方向性】

- 2030年大会の開催意義(問3)や財政面の考え方(問6)、不測の事態への対応(問7)について、比較的理解の割合が低く、支持が得られていない傾向(上記2)
- これら大会概要(案)の考え方が「わからない」層のうち、大会開催の賛否についても「わからない」もしくは「反対(どちらかといえば反対)」に相当程度偏在(上記3)
- 今後は、大会概要(案)の「わからない」層を念頭に、「大会概要(案)の理解促進」と「開催意義の議論を深め、広く発信する」ための取組を進めていく。
- 具体的には、経済界と連携した出前講座の対象拡大やフォーラム開催など、様々な対話の機会を多く設け、開催経費等への不安や懸念を払拭するための取組を推進
- また、市民・道民、さらには国民からより多くの理解と共感を得られるよう、「北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会」での大会の開催意義に関する議論も踏まえながら、各種メディアを通じた発信を強化

4 公開方法

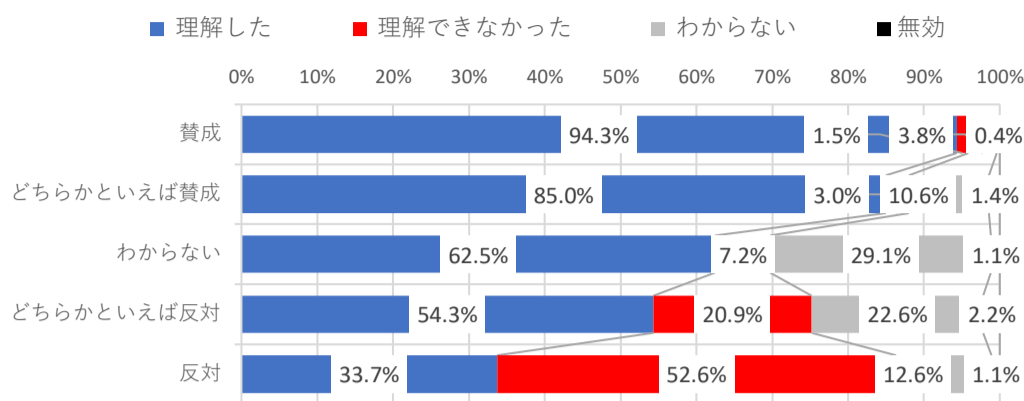
市ホームページに掲載

◇冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する詳細分析（問3～問7と問8のクロス集計）

< 郵送調査 >

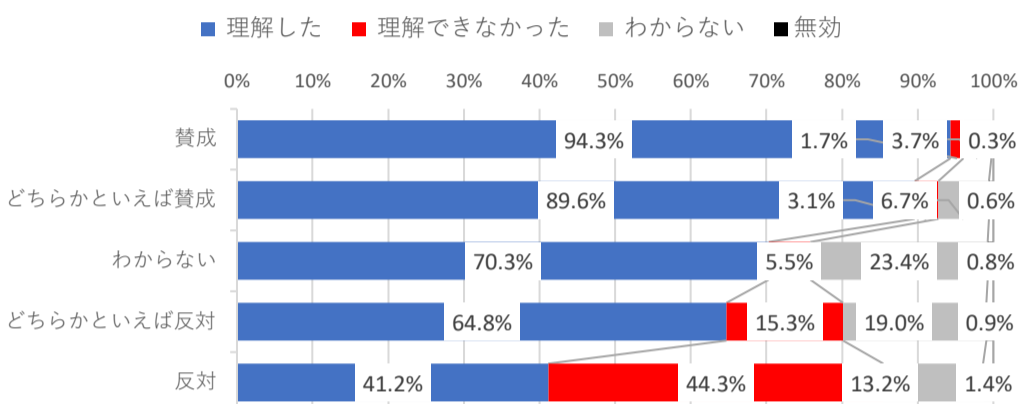
【問3】札幌市では2030年大会について、「単なる一過性のスポーツイベントではなく、北海道・札幌が将来に渡って輝き続けるためのまちづくりに関するプロジェクト」としています。この内容について、あなたはどのように思いますか。

		問3				
		計	理解した	理解できなかった	わからない	無効
問8	賛成	1,518	1,432	23	57	6
	どちらかといえば賛成	1,498	1,273	45	159	21
	わからない	525	328	38	153	6
	どちらかといえば反対	959	521	200	217	21
	反対	1,249	421	657	157	14
	無効	26	3	1	2	20



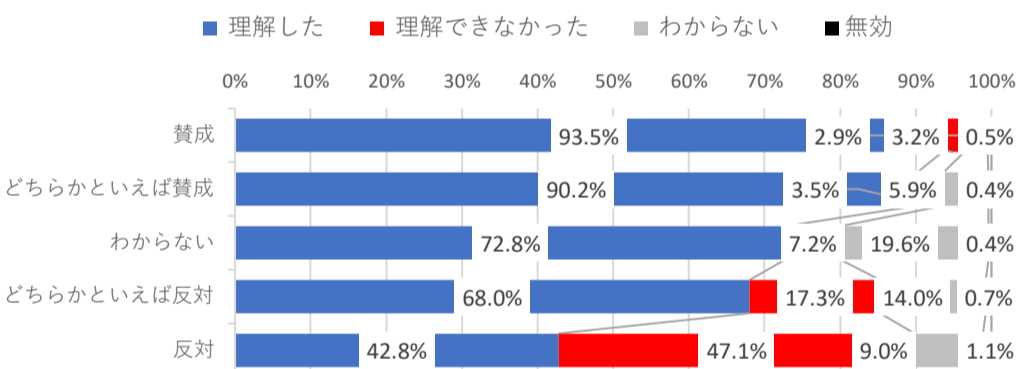
【問4】冬季パラリンピックは北海道・札幌市で初めての開催となります。札幌市は、パラリンピックの開催が、障がいの有無に関わらず誰もが生き生きと暮らせる「共生社会」の実現に貢献すると考えています。この内容について、あなたはどのように思いますか。

		問4				
		計	理解した	理解できなかった	わからない	無効
問8	賛成	1,518	1,432	26	56	4
	どちらかといえば賛成	1,498	1,342	47	100	9
	わからない	525	369	29	123	4
	どちらかといえば反対	959	621	147	182	9
	反対	1,249	514	553	165	17
	無効	26	3	1	2	20



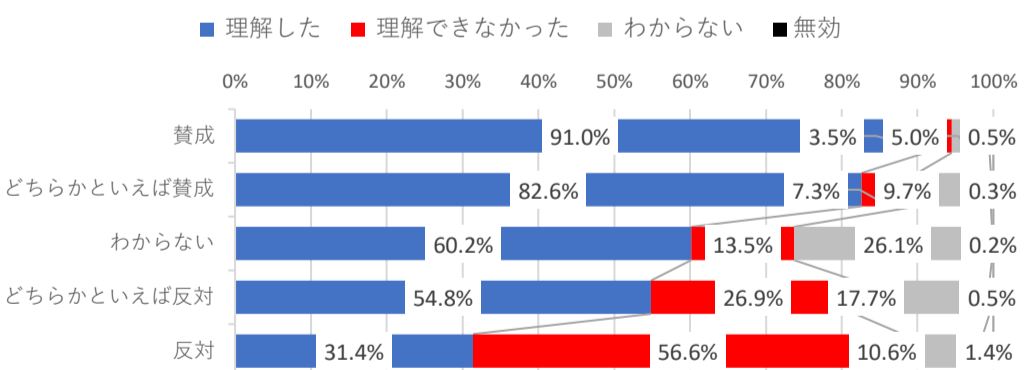
【問5】オリンピック・パラリンピックを開催する際の懸念として、大会後の施設の後利用や維持・管理についての負担があげられます。札幌市では施設整備の考え方として、「すでにある施設を最大限活用し、大会開催のための新たな施設は設けない」としています。この内容について、あなたはどのように思いますか。

		問5				
		計	理解した	理解できなかった	わからない	無効
問8	賛成	1,518	1,419	44	48	7
	どちらかといえば賛成	1,498	1,351	52	89	6
	わからない	525	382	38	103	2
	どちらかといえば反対	959	652	166	134	7
	反対	1,249	534	588	113	14
	無効	26	4	2	0	20



【問6】札幌市では財政面の考え方として、「大会の運営のための費用は、IOC（国際オリンピック委員会）の負担金やスポンサー収入などで賄い、原則、税金は投入しない計画」としています。この内容について、あなたはどのように思いますか。

		問6				
		計	理解した	理解できなかった	わからない	無効
問8	賛成	1,518	1,382	53	76	7
	どちらかといえば賛成	1,498	1,238	110	145	5
	わからない	525	316	71	137	1
	どちらかといえば反対	959	526	258	170	5
	反対	1,249	392	707	133	17
	無効	26	4	1	1	20



【問7】オリンピック・パラリンピックを開催する際の懸念として、災害や感染症などのリスクがあげられます。札幌市では「新型コロナウイルスへの対応等、不測の事態への対応のため、予算の10%程度を予備費として確保する」としています。この内容について、あなたはどのように思いますか。

		問7				
		計	理解した	理解できなかった	わからない	無効
問8	賛成	1,518	1,344	49	116	9
	どちらかといえば賛成	1,498	1,099	135	239	25
	わからない	525	281	70	170	4
	どちらかといえば反対	959	446	274	225	14
	反対	1,249	368	693	158	30
	無効	26	2	1	2	21

